

# 千葉商工会議所景気動向調査

平成 30 年 8 月調査結果

平成 30 年 9 月

千葉商工会議所

# 千葉商工会議所景気動向調査

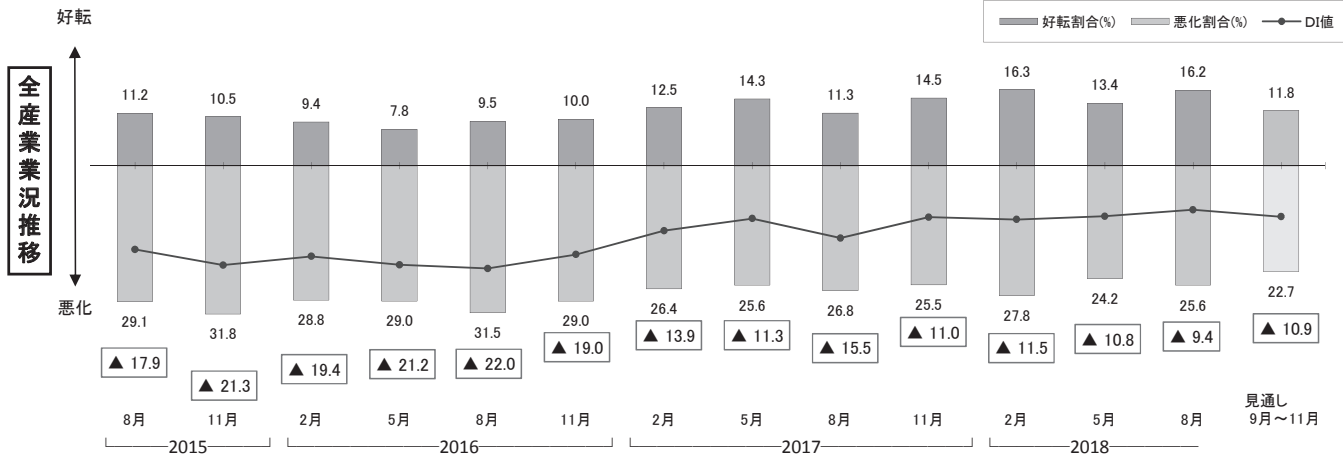
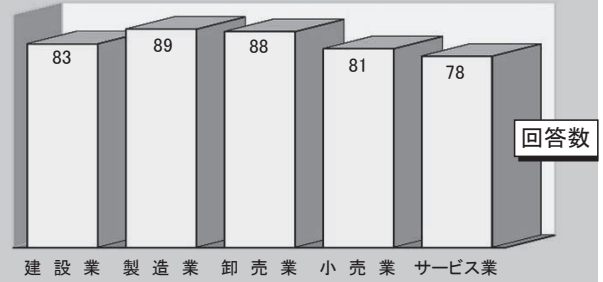
## ……平成30年8月調査結果報告……

調査期間：平成30年8月8日(水)～8月24日(金)

調査対象：千葉商工会議所法人会員事業所 500社  
(回答 419社 回答率 83.8%)

DI値(景気動向指数)とは、売上・採算・業況などの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。  
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。

DI値：(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)



### 【全体的特徴】

(▲はマイナス)

業況DI(前年同月比ベース、以下同じ)を見ると、前回調査(平成30年5月、以下同じ)と比較して、製造業が下降し、建設業・小売業・サービス業が上昇、卸売業が横ばいとなった結果、全産業合計DIは1.4ポイント上昇して▲9.4となり、2期連続で改善となった。

また、向こう3ヶ月(9月～11月、以下同じ)の先行き見通しは、製造業・卸売業が下降し、建設業・サービス業が上昇、小売業が横ばいの見込みとなっており、全産業合計DIは現状より1.5ポイント下降の▲10.9となっている。

売上DIでは、前回調査と比較して、卸売業が下降し、建設業・製造業・小売業・サービス業が上昇した結果、全産業合計DIは4.5ポイント上昇して▲3.4となり、2期連続で改善となった。

また、向こう3ヶ月の先行き見通しは、製造業・卸売業・小売業が下降し、建設業・サービス業が上昇の見込みとなっており、全産業合計DIは現状と変わらず▲3.4となっている。

採算DIでは、前回調査と比較して、製造業・卸売業・小売業・サービス業が下降し、建設業が上昇した結果、全産業合計DIは2.3ポイント下降して▲13.5となり、3期ぶりの悪化となった。

また、向こう3ヶ月の先行き見通しは、建設業・卸売業が下降し、製造業・小売業・サービス業が上昇の見込みとなっており、全産業合計DIは現状より1.7ポイント上昇の▲11.8となっている。

仕入単価DIは、2期ぶりに悪化しており、原材料・燃料価格の高騰が続いている。

従業員DIは、5期ぶりに下降となっているものの、深刻な人手不足の状況が続いている。

資金繰りDIは、横ばいで推移している。

全体を総括すると、業況DIは2期連続で改善したものの、ほぼ横ばいで推移。「猛暑の影響で飲料や熱中症対策関係の商品が売れた」との声がある一方、「ガソリン等の市場単価の高騰」と、原材料価格の高騰を懸念する声も聞かれた。先行きについては、建設業・サービス業が上昇すると見込まれているものの、慎重な見方が続いている。

### 【調査結果のポイント】

業況DIは2期連続で改善したものの、ほぼ横ばいで推移。  
慢性的な人手不足や、原材料価格の高騰が続いている。  
先行きは、慎重な見方が続いている。

## 【全産業】

### 【業種別特徴】

#### ・建設業

前回調査と比較して、業況DIは4.0ポイント上昇して▲11.0に、売上DIは10.2ポイント上昇して▲4.8に、採算DIは5.3ポイント上昇して▲11.0となった。向こう3ヶ月の先行き見通しは、業況DIは下向くものの、業況DI・売上DIは上向くとの見方になっている。

「仕事の増加に伴う作業員の不足」「オリパラ需要の影響で原材料価格が上がっているのではないか」などの声があった。

#### ・製造業

前回調査と比較して、業況DIは4.6ポイント下降して1.2に、売上DIは1.0ポイント上昇して5.7に、採算DIは9.1ポイント下降して▲6.8となった。向こう3ヶ月の先行き見通しは、業況DI・売上DIは下向くものの、採算DIは上向くとの見方になっている。

「度を超えた価格競争」「8月は売上増加予想だったが、天候不良で増加は見込めない」などの声があった。

#### ・卸売業

前回調査と比較して、業況DIは0.8ポイント下降して▲10.3に、売上DIは3.4ポイント下降して▲5.7に、採算DIは1.1ポイント下降して▲11.7となった。向こう3ヶ月の先行き見通しは、業況DI・売上DI・採算DIは全て現状より下向くとの見方になっている。

「消費税の上昇による景気後退や業務処理の複雑化について不安を感じている」「異常な暑さから商品が品薄となり、水・お茶・スポーツドリンクが好調」などの声があった。

#### ・小売業

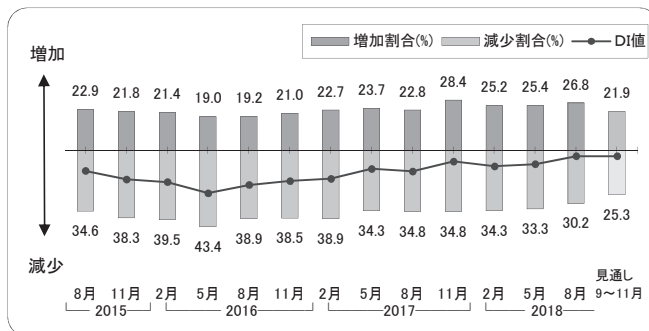
前回調査と比較して、業況DIは6.9ポイント上昇して▲17.5に、売上DIは9.6ポイント上昇して▲5.0に、採算DIは5.5ポイント下降して▲25.0となった。向こう3ヶ月の先行き見通しは、売上DIは下向くものの、採算DIは上向き、業況DIは横ばいとの見方になっている。

「猛暑の影響で、飲料や熱中症対策関係の商品が売れた」「消費低迷により店舗の売上が上がらない」などの声があった。

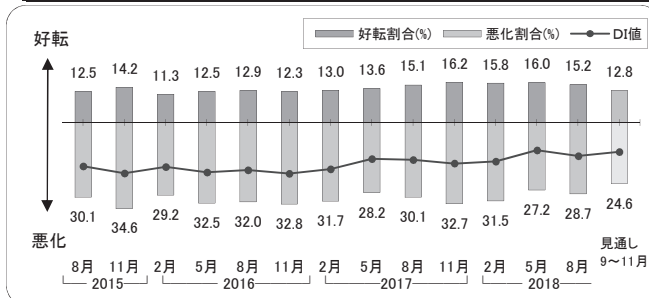
#### ・サービス業

前回調査と比較して、業況DIは1.2ポイント上昇して▲10.4に、売上DIは5.1ポイント上昇して▲7.7に、採算DIは1.4ポイント下降して▲14.1となった。向こう3ヶ月の先行き見通しは、業況DI・売上DI・採算DIは全て現状より上向くとの見方になっている。「ガソリン等の市場単価の高騰」「人手不足で仕事を断るケースが増えている」などの声があった。

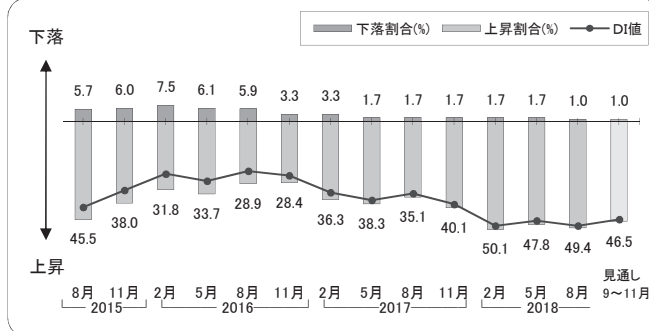
#### 売上推移



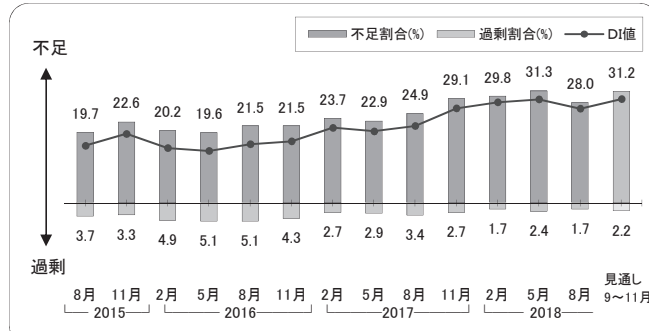
#### 採算推移



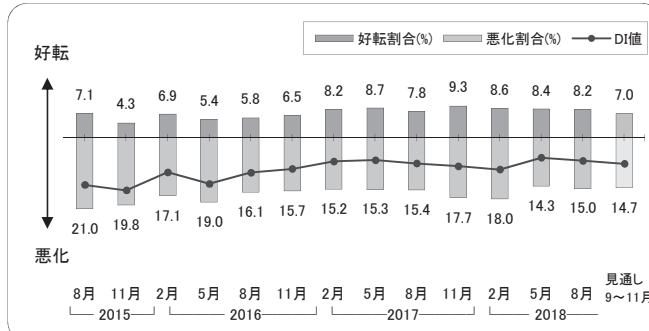
#### 仕入単価推移



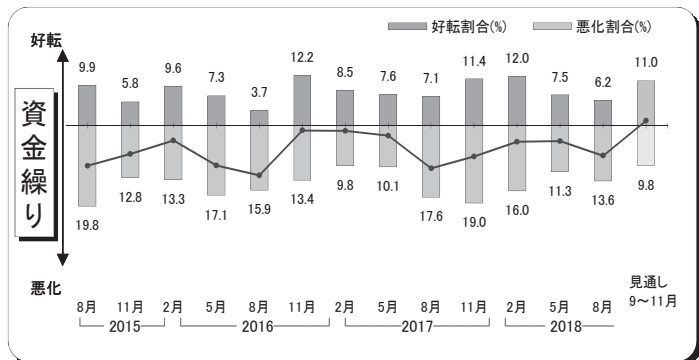
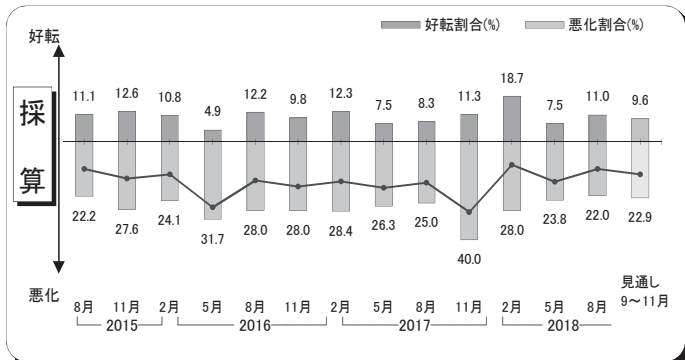
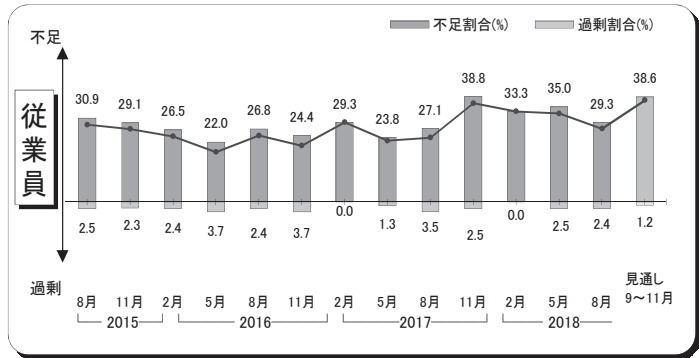
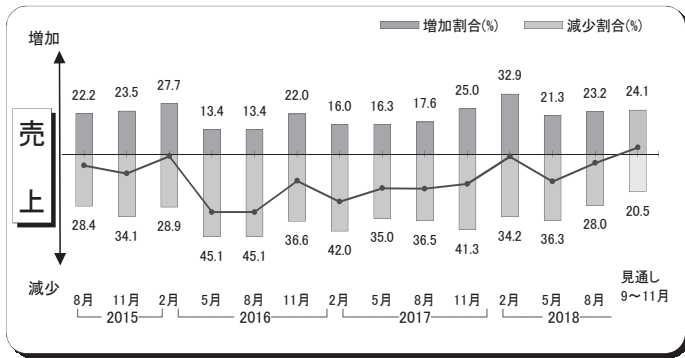
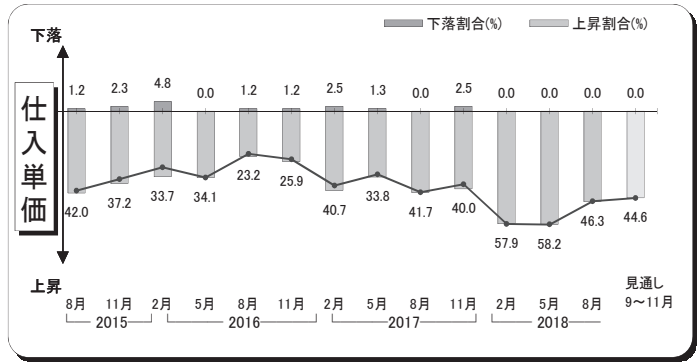
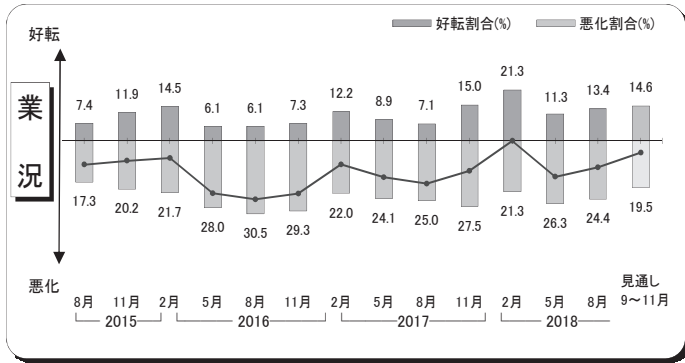
#### 従業員推移



#### 資金繰り推移



# 【建設業】①

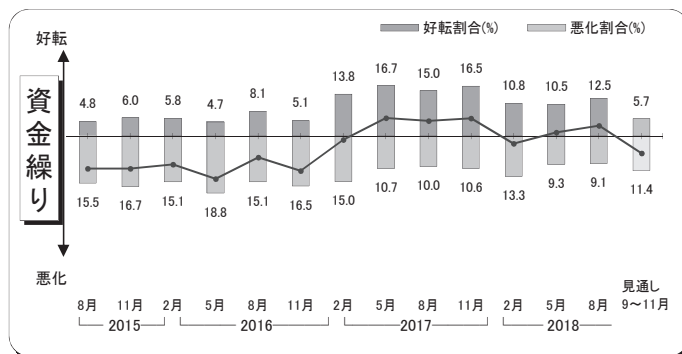
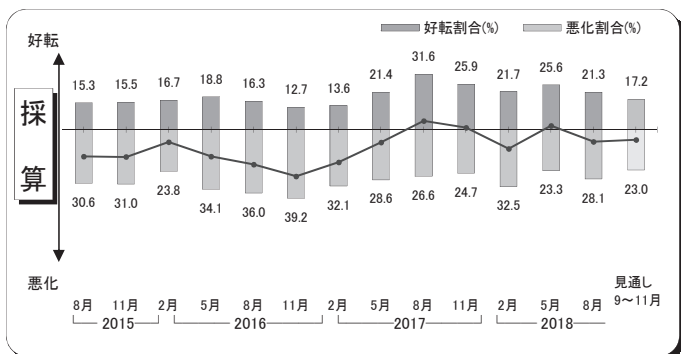
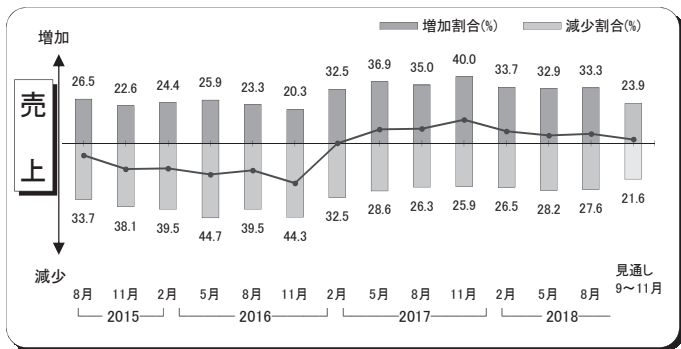
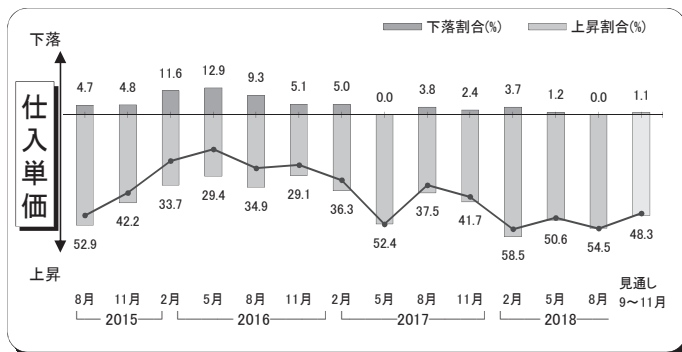
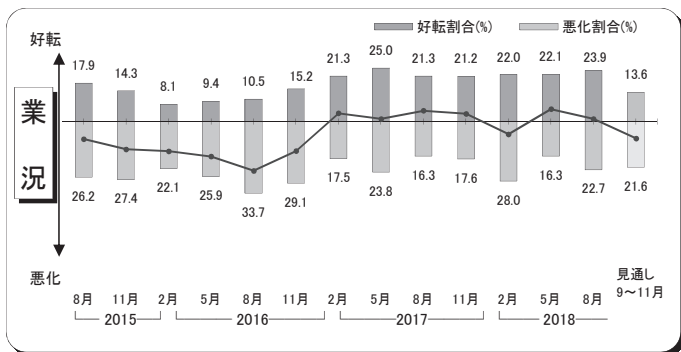


## 【建設業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

土木建築工事業	建設業（解体作業員）の人手不足は、増々、深刻化しております。 仕事は人さえいれば、いくらでもあるのですが、将来的に不安になります。
土木建築工事業	建設業全体的に忙しいようだ。消費税増税前の駆け込み需要の影響があるようだ。
造園工事業	圏央道が一部つながり、人や車の流れがかわった。金・土・日の夕方、上りはいつも京葉道路が混んでいたが、今は東関道も詰まっている。 千葉の駅周辺の人の流れも変わった。駅前に人がより集まり、元パルコ付近は、人が減った。日常が少しずつ変わっていく。会社も世の中の変化に対応していなくてはと思った。
とび工事業	工事の発注率がやや下がりぎみになって来ており、業界全体として受注物件にムラが出て来ている。解体工事業者が年々増加しているのも一つの要因ではなかろうか。外国人の雇用は前向きに検討したいが、どのように求人を出すのがよくわからない。
管工事業	東京オリンピック・パラリンピックまでの建設業需要はあるようです。その後の事はどの世界でも不明ですので、必ずしも悪化することはないと思います。 若い世代の人口減少を食い止める策が一番の課題です。 学校にエアコンが無いとか、寂しいニュースとかは聞きたくないですね。
管工事業	仕事の増加に伴う作業員の不足。
管工事業	技術者が減ったため、仕事量が増えた。 直接的なオリパラ関係の仕事はないが、同業他社がオリパラ関係の仕事で忙しく手がまわらないため、こちらにも仕事ははいつてくる。 オリパラ需要の影響で原材料価格が上がっているのではないか。

# 【製造業】①

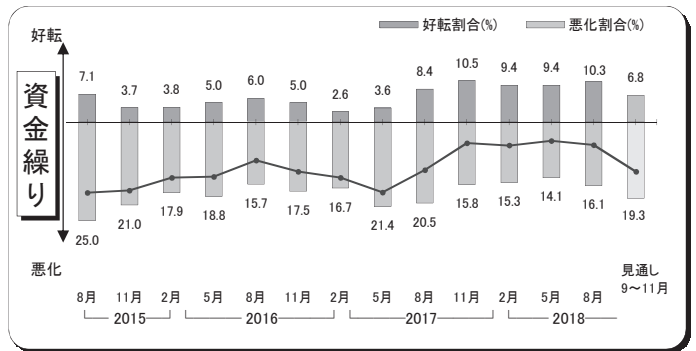
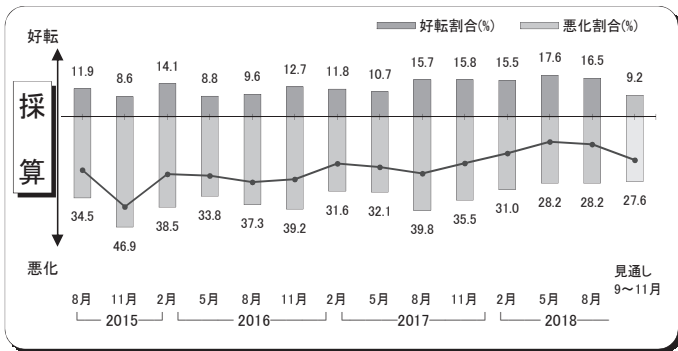
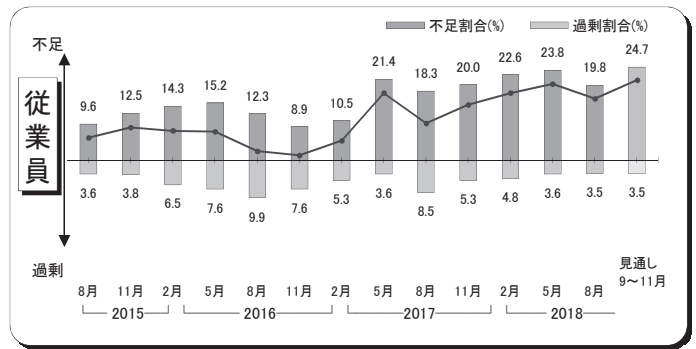
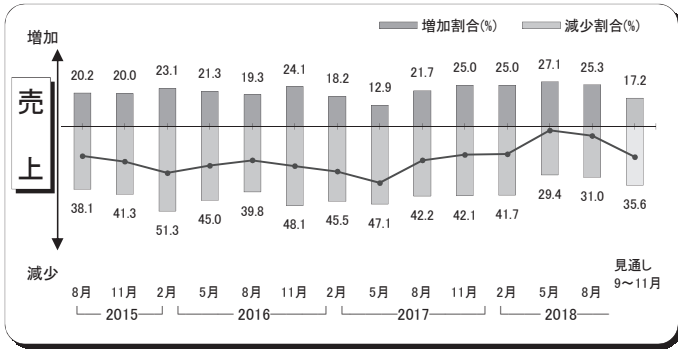
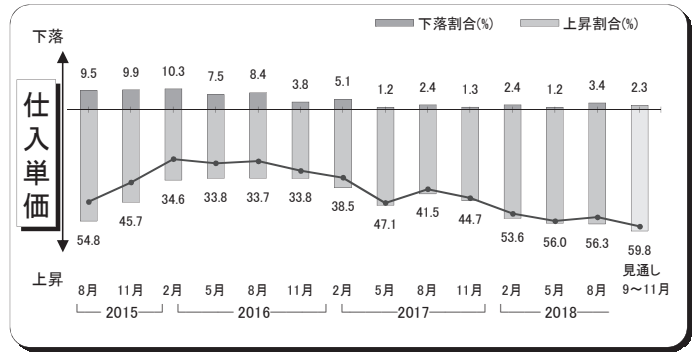
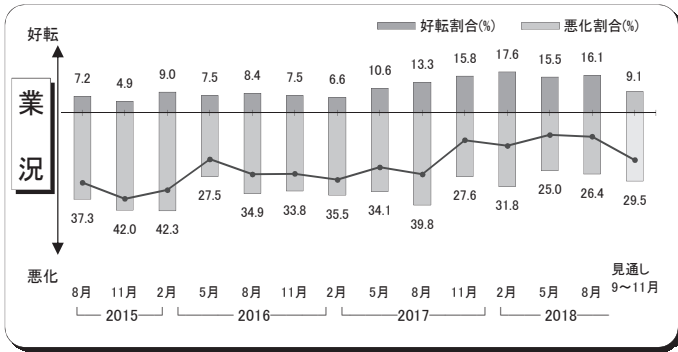


## 【製造業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

オフセット印刷業	度を越えた価格競争。
生コンクリート製造業	8月は売上増加予想だったが、天候不良で増加は見込めない。
建設用金属製品製造業	現在、仕事量が多く、全て受注することが出来ず（ありがたいことですが）、客先に対して申し訳なく思っているのが現状です。 何とか今の状況を少しでも改善すべく、即戦力として人員の募集をした結果、良い人材が採用でき、今後、大いに期待していきたいと思っている。
建設機械・ 鉦山機械製造業	既成杭の基礎業界はゆるやかな下降線になってきたのかなと思いますが、私の見方は、年内はまだ景気に陰りは無いと思っていますので、どうしたのかと気に掛けています。
生産用機械・ 同部品製造業	例年通り、夏場過ぎから引合いが多くなりそうだ。 今年は、生産性の向上と、人材確保が焦点だ。
生産用機械・ 同部品製造業	新卒社員の応募が少なく、採用人数が少ないことから、入社しても同期がいない、又は、少ない為に気軽に相談・話す相手がいない為に一人で抱えこんでしまうケースが近年見受けられます。
集積回路製造業	当社は半導体関係の会社が閉鎖する時に紹介が有り、外国人材を受け入れた。現在も本社で採用したいと思っているが、なかなか信頼できる人からの紹介がない。メールで「外国人の受け入れしませんか」と営業的に来るが、信頼出来ない事と不安で受け入れる事が出来ないで居る。

# 【卸売業】①



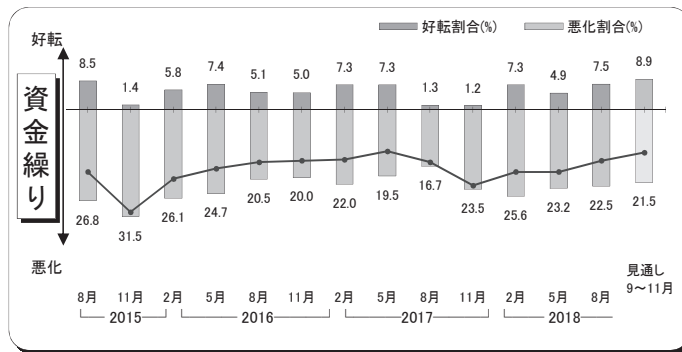
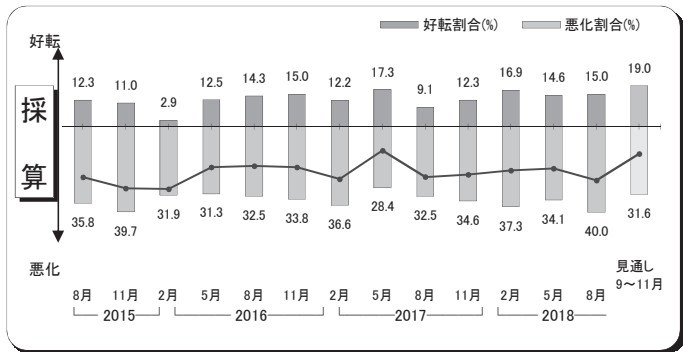
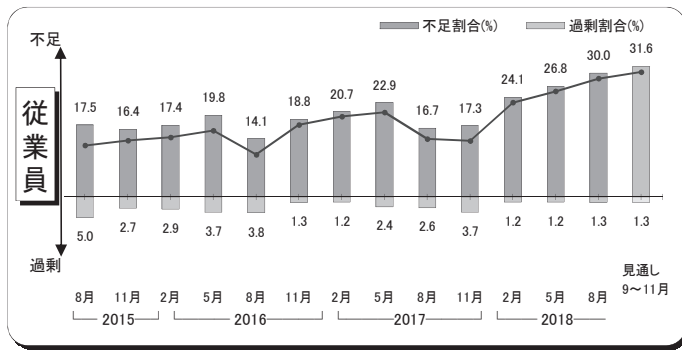
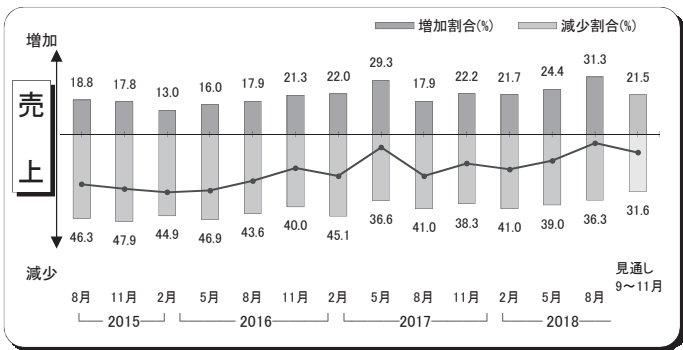
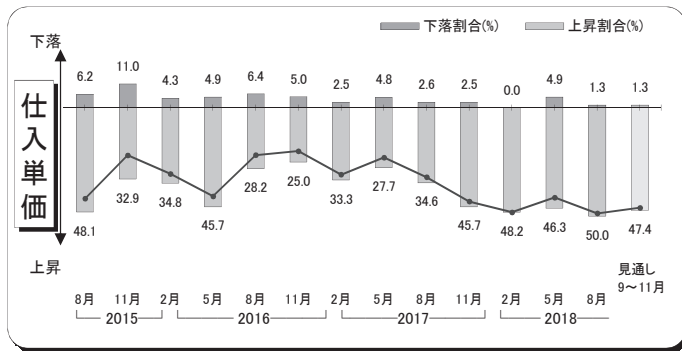
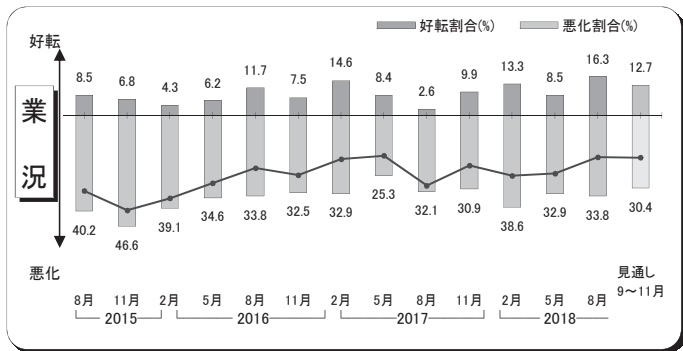


## 【卸売業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

鋼製品卸売業	余り市況は活発な動きはなく様子見的な状況が続いている。それに西日本豪雨により、スムーズな積出しが出来なく、又夏季休暇と相まって、稼働日数も少なく、増々商機を失っている現況です。
非鉄金属スクラップ卸売業	飲料缶は夏場の発生期となり量的には増えています。価格は、反比例で下げモードに。それでもトランプ効果で前年比では高値。採算的にはトラック運賃の値上げが効いて多少きっています。
事務用機械器具卸売業	販売チャネルの高齢化
産業機械器具卸売業	基本的に求人は難しい。ただ、日本人外国人と分けることは考えていない。 (最低限のビジネススキル、日本語は必要)
産業機械器具卸売業	これまでは輸出が殆どだったが、輸入の検討を考えている。
理化学機械器具等卸売業	消費税の上昇による景気後退や業務処理の複雑化について不安を感じている。中国の過度な環境対策による企業への取締により、供給不安・仕入価格の急変が大きな経営リスクである反面、東南アジア・韓国・南アジアとの取引は順調に伸びている感がある。
医薬品卸売業	例年より早い6月に梅雨明けとなり、飲料業界は7月の売上が昨年比 103%の状況です。特に異常な暑さから商品が品薄となり、水（110%）・お茶（107%）・スポーツドリンク（107%）が好調でした。
化粧品卸売業	専門家と経営改善計画の策定を行っており、自社の現状把握をした上で、今後の経営方針をたてたい。美容室は、増々格差が広がっているので、良い顧客を見極め営業していこうと思う。

# 【小売業】①

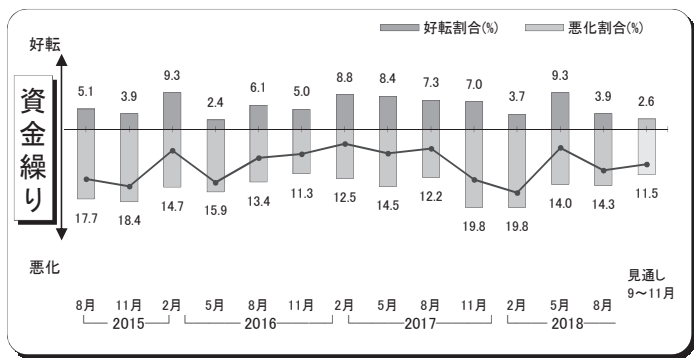
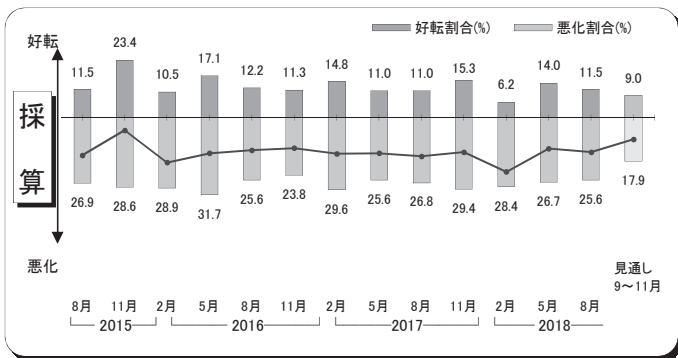
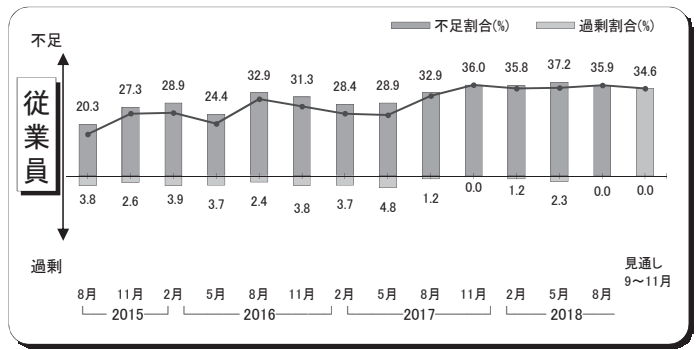
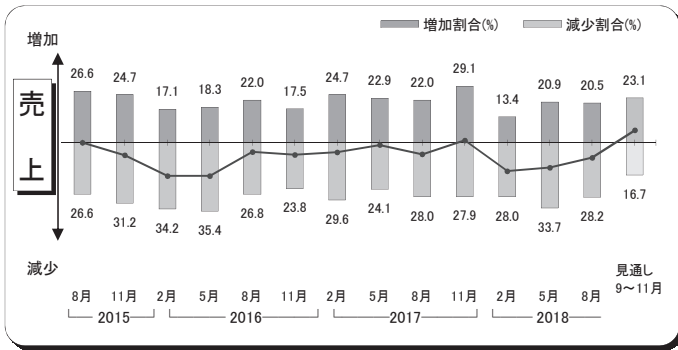
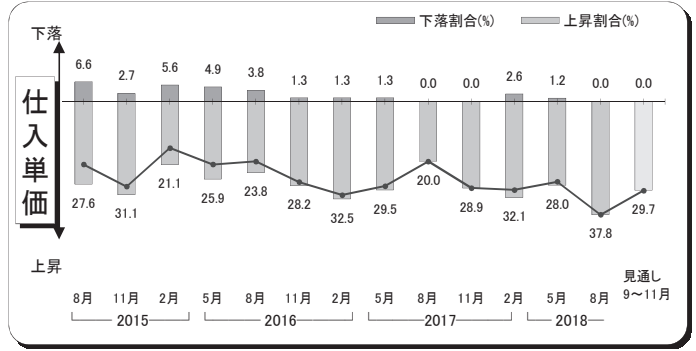
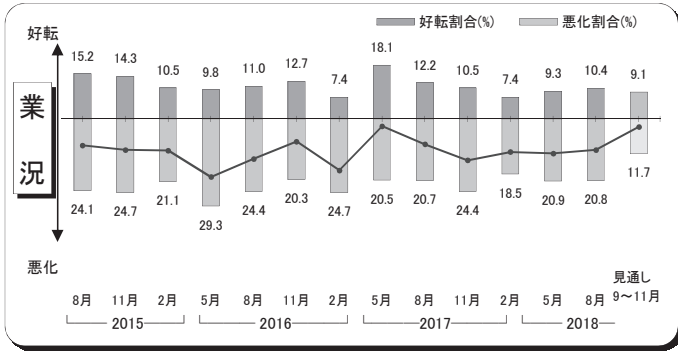


## 【小売業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

各種商品小売業	猛暑の影響で、飲料や熱中症対策関係の商品が売れた。
靴小売業	消費低迷により店舗の売上が上がらない。 来年の消費税アップ後が心配。
各種食料品小売業	就労人材が少ない状況。 商工会議所等で外国人受入等の説明会、紹介等してほしい。
食肉小売業	超高温のため、焼肉・バーベキューといった肉の料理を作らず、肉の売上が減少。
自動車（新車）小売業	車関係のイベントが毎年春から秋にかけて開催されるため、この時期は売上が伸びる。
中古自動車小売業	仕入れ単価の上昇が目立ってきた感じはある。来年度の消費税10%の引上げに関して不安を感じる。全体的な景気の底上げなら良いが、一部のみでは意味がない。デフレ脱却の為の税上げになるよう期待はしている。 個人的には物の2%を上げるなら、所得税率が下がるような対策を取って欲しい。人にお金が入り使ってこそ、世にお金がまわる仕組みをお願いしたい。
電気機械器具小売用	エアコンが売れました。
電気機械器具小売業	外国人の受け入れについては考えたことも検討したことも無い。確かにコミュニケーションの問題や生活習慣の違い、宗教上の問題等々の課題は山積みと思われるが、日本における人不足を考えると今後は検討していく必要はあるのかもしれない。
医薬品小売業	若干上向いたが、将来性は暗い。何か明るいビジョンが示されるとうれしい。 このままでは次世代に安心して渡せない。
紙・文房具小売業	オリンピック後の心配、チャイナ危機の懸念。
スポーツ用品小売業	個人消費が弱く、業界自体が厳しい状況が続いています。 業種変換等も視野に入れ勉強中です。
ホームセンター	猛暑による来店者減少が、8月も続くことが予想される。8/8.9の台風も影響し、出足をくじかれた。
建築材料小売業	プレカットが主流のため、製材需要の先行きは更に減少すると思われる。
ジュエリー製品小売業	ジュエリーの価格が下がったため、売れ行きが良い。ジュエリーのリメイクも好調だ。毎年秋は、結婚式が増えるため、売上も増加する。
他に分類されない その他の小売業	得意先（金物等を扱う会社）が好況のため、景気が良い。

# 【サービス業】①



## 【サービス業】②

### 企業の声（日本標準産業分類順）

貨物自動車運送業	運輸会社である以上、ガソリン等の市場単価の高騰は目の離せない所です。また、運転手の求人、採用の難しさは当社としての課題となっております。
運輸附帯サービス業	当面を含めて人材不足が近い将来大きな問題である。 コストの見直しが求められると思う。コストセーブは重要だが、つきつめると安全と安定が失われる懸念があることと、社員の福利を含めた定着率と安定を保障出来なくなる。とかく場当たりの対策を国は講ずるが、永続的なものへと転化できないのと社会が短期的に対処する風潮になり長期的な計画が出来なくなってしまう懸念がある。 報道による情報が多くて、それにおどらされている傾向があつて腰を落ちつけて仕事に掛かる風潮が失われている。
建築機械器具賃貸業	外国人材に関して顧客の中には外国人の方が増えつつあるが、語学の問題、意思疎通の食い違いによる多少のトラブルが見受けられる。
物品賃貸業	喫煙も含め、飲食店（スナック、クラブ、キャバクラ）等への取締りが厳しすぎて、夜の観光業をつぶすのか。
建築設計業	仕事はあるが、忙しさの割に業績は伸びない。過当競争の為、受注コストが下がり、経営的には厳しいまま推移している。
建築設計業	デフレ期間が長かった為になかなか依頼者側にその傾向が正常にならない。そして単価安につながり収益につながらなく、苦しんでいる。
測量業	当社としては余り変わらないが、他業者の集まりに参加すると、中小企業は元気が無いと感じる。
旅館・ホテル	商業施設ペリエ千葉の全面開業で駅周辺の限られたエリアは賑わいを見せるが、三越千葉、千葉パルコ閉店の影響以降、駅前中央表通りの活気はなく、三越千葉店に入る後継店の情報もなく不安感が募る。一方、千葉エリアは7/24に始まる新規ホテル開業から今年、来年とホテルの開業が相次ぎ、価格競争に拍車がかかる。今まで重要視していた幕張メッセのイベントによる集客が新浦安、舞浜、船橋、千葉エリアのホテル開業や増室に伴い薄れている。
専門料理店	飲食業部内は売上高が増加して業況も良いが、輸入卸がふるわない。但し原因が特定出来たので、今後その点を改善する事で業績は回復すると考えます。
自動車一般整備業	お客様の高齢化により年々顧客の減少。 車両の高度化により修理顧客が減少、単価が下がった。 新型車両の販売が少し追風になっている。
ビルメンテナンス業	人手不足で仕事を断るケースが増えている。人手不足対策が喫緊の課題。
ディスプレイ業	外国人材について、以前に採用した経験があり、事務作業等々が不慣れだと煩雑に感じられることがあります。ただ、それ以上に問題なのは、「いつまで日本で働くつもりか」が掴みにくい点です。弊社のような小さい企業では、新社員に定着してもらい、将来の中心メンバーになってもらう必要があります。少ない採用人数の中に外国人を含めるのが難しいと構えてしまう傾向があります。日本人でも離職されてしまえば同じなのですが、実際の社員募集では日本人に注力してしまう状況があります。





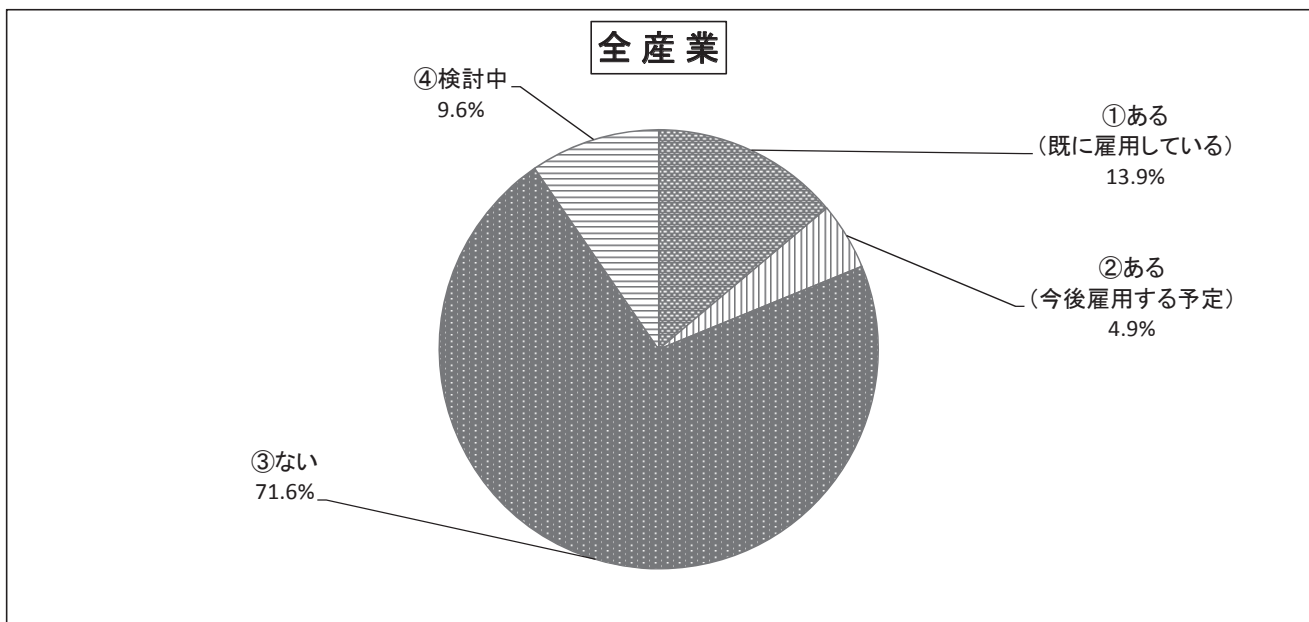
業種	全業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
回答数	324	62	72	61	63	66

**【調査結果のポイント】**

- ・外国人材の受け入れに意欲的な企業(注1)は、全体の18.8%。
- ・外国人材のニーズがある理由は「人手不足により、日本人の求人が充足できない」が最も多い。
- ・外国人材のニーズが無い理由は「必要性が無い」が最も多い。

(注1)「(1)外国人材の受け入れについて」で①・②と回答した企業

(1)外国人材の受け入れのニーズについて



外国人材の受け入れに意欲的な企業(注1)の業種別割合

業種	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
割合	18.8%	14.5%	16.7%	18.0%	27.0%	18.2%

外国人材の受け入れのニーズについて

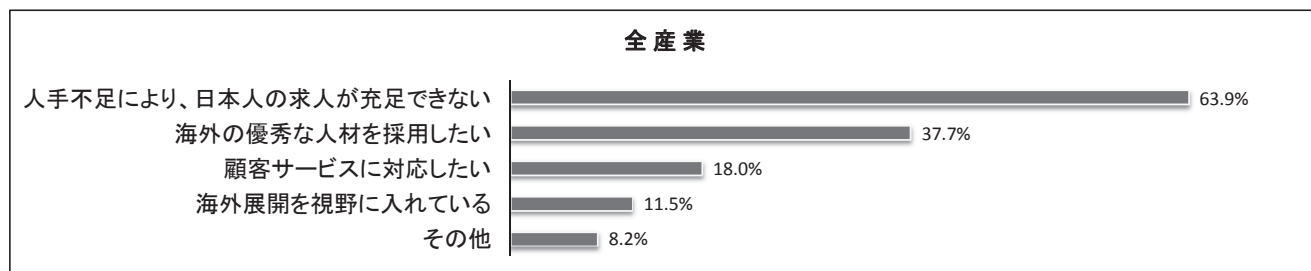
	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
①ある (既に雇用している)	13.9%	9.7%	13.9%	11.5%	20.6%	13.6%
②ある (今後雇用する予定)	4.9%	4.8%	2.8%	6.6%	6.3%	4.5%
③ない	71.6%	72.6%	75.0%	73.8%	68.3%	68.2%
④検討中	9.6%	12.9%	8.3%	8.2%	4.8%	13.6%



(2) 外国人材を受け入れる、受け入れたい理由について

「(1)外国人受け入れについて」でニーズが「ある(①・②)」と回答した企業に伺った。(複数回答可)

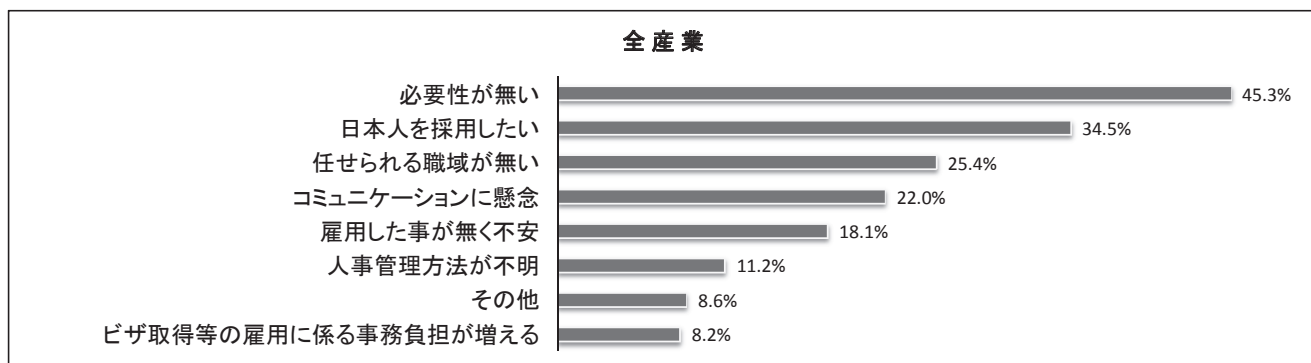
	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
人手不足により、日本人の求人が充足できない	63.9%	77.8%	50.0%	36.4%	76.5%	75.0%
海外の優秀な人材を採用したい	37.7%	44.4%	58.3%	36.4%	23.5%	33.3%
顧客サービスに対応したい	18.0%	11.1%	33.3%	9.1%	17.6%	16.7%
海外展開を視野に入れている	11.5%	0.0%	25.0%	27.3%	5.9%	0.0%
その他	8.2%	0.0%	33.3%	9.1%	0.0%	0.0%

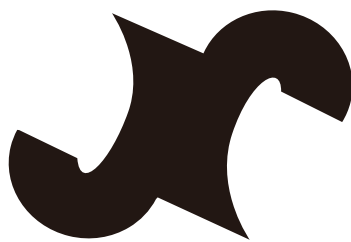


(3) 外国人材のニーズが無い理由について

「(1)外国人受け入れについて」でニーズが「ない(③)」と回答した企業に伺った。(複数回答可)

	全産業	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
必要性が無い	45.3%	35.6%	31.5%	64.4%	51.2%	46.7%
日本人を採用したい	34.5%	42.2%	40.7%	31.1%	32.6%	24.4%
任せられる職域が無い	25.4%	31.1%	33.3%	24.4%	16.3%	20.0%
コミュニケーションに懸念	22.0%	15.6%	29.6%	15.6%	20.9%	26.7%
雇用した事が無く不安	18.1%	13.3%	20.4%	13.3%	16.3%	26.7%
人事管理方法が不明	11.2%	13.3%	18.5%	6.7%	9.3%	6.7%
その他	8.6%	6.7%	7.4%	6.7%	11.6%	11.1%
ビザ取得等の雇用に係る事務負担が増える	8.2%	11.1%	9.3%	2.2%	11.6%	6.7%





【お問い合わせ】  
千葉商工会議所  
企画経営部 企画広報課  
〒260-0013  
千葉市中央区中央 2-5-1  
TEL: (043) 227-4103  
Mail: chosa@chiba-cci.or.jp

